



2024年5月13日

各位

会社名 神田通信機株式会社  
代表者名 代表取締役社長 神部 雅人  
(コード番号：1992 東証スタンダード市場)  
問合せ先 執行役員管理本部長 永芳 淳二  
電話番号 (03) 3252-7731

### 通期連結業績予想と実績との差異及び 剰余金の配当に関するお知らせ

2024年2月5日に公表いたしました2024年3月期通期の連結業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2024年3月期の期末配当について、2024年6月27日開催の第87期定時株主総会に下記のとおり付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 業績予想と実績との差異について

##### (1) 2024年3月期通期連結業績予想と実績との差異 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	6,700	410	490	300	128円05銭
実績 (B)	7,152	721	804	545	232円47銭
増減額 (B-A)	452	311	314	245	
増減率 (%)	6.8	75.9	64.2	81.7	
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	5,978	483	559	383	161円49銭

##### (2) 業績予想との差異理由

売上高につきましては、企業の設備投資意欲の回復に伴い、レガシーPBXの底堅い需要、セキュリティ意識の高まりによる監視カメラ等の工事、また、各種子供施設向け支援システム[CoDMON]、様々な設備をつなぐソフトウェア[マルチゲートウェイ]等のネットワークインフラ構築に対応したこと等により、受注が予想を上回って推移したことで、手持ちの工事の進捗も予想を上回りました。

利益面につきましては、増収による効果に伴い、事業活動強化のための開発投資、人的資本充実のための人材投資の遅れも相まり、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれも前回予想を上回りました。

## 2. 剰余金の配当について

### (1) 2024年3月期期末配当の内容

	予定額	直近の配当予想 (2024年2月5日発表)	前期実績 (2023年3月期)
基準日	2024年3月31日	2024年3月31日	2023年3月31日
1株当たり配当金	66円	61円	60円
配当金の総額	154,624千円	—	142,862千円
効力発生日	2024年6月28日	—	2023年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (2) 理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、収益性の向上をはじめとした諸施策に取り組むことでROE 8%の目標を掲げ、同時に中長期的な視点に立った事業活動を推進しております。配当政策としましては、株主の皆様への利益還元の姿勢を強化するとともに、事業成長への投資を進めていくため、DOE 3%を目処として設定し、安定的な配当を継続することを基本方針として参ります。

当事業年度の剰余金の配当については、前回公表において61円としておりました期末配当を1株当たり66円予定としております。

以 上